

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス アニマートかわにし		公表日		令和8年 2月 2日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2		
	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。			5	・SNS等も使い日々の活動を発信し、スタッフ増員出来るようにしている	・個別対応が必要な児童がおり曜日によっては職員が足りないと思う ・不足している・定員としては足りているが配慮が必要な児童が多い場合足りていない ・人が少ないので細かい所に目が届かない場面がある	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		3	2	・子どもの特性に応じて見守りをスタッフ間で共有し実施している	・個室等遊べる場所はあるがトイレについては狭い ・扉ドアの開閉が危険 ・トイレや水回りなどに手すりを設ける必要がある ・疲れて寝る子どももいるので横になれるスペースがあるとよいとおもう	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。		4	1	・今後も継続して清潔に努め、環境を整える	・整理整頓に取る時間がない	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		3	2	・テント・パーテーションを使うなどの工夫をしている	・出来ればもっと子どもが自由に使える個別の場所が欲しい	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1	・今後もスタッフ間で情報を共有し、支援する	・現場では解決できない問題が多い ・会社からの指示が個別で対応することが多い。そして会社からの振り返りなどはない	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		・スタッフ間で情報を共有し、支援に生かせる環境作りを心がける	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	・今後もスタッフ間で情報を共有し、支援に生かせる環境作りを心がける	・現場の意見が会社に上がりにくい環境がある	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		・現場の意見が会社に上がりにくい環境がある	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・内部研修などを実施し、職員間で共有し資質向上を目指す。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			・引き続き実施する	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			・引き続き実施する	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・今後も職員間で情報を共有し、支援に生かせる環境作りを心がける	・引き続き実施する	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	・今後も職員間で情報を共有し、支援に生かせる環境作りを心がける	・引き続き実施する	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・職員全体でツールを用いることが出来るようにスタッフで共有する	・今後検討する	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・保護者、子どもに分かりやすい言葉で伝え支援内容を理解していただけるようにする	・引き続き実施する
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・職員全体で考え、共有する	・引き続き実施する
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・職員全体で考え、共有する	・引き続き実施する
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	・職員数は少なく大変であるが、職員全体で考え、共有し支援に生かす	・個別で対応できるほどの職員数がない
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			・引き続き実施する
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	4	現状、翌日の朝に申し送りという形で行っているためその日ではない	・必ずではないが何か問題があった時は共有している。当日に振り帰りなどを行えるように検討していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			・引き続き実施する
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			・引き続き実施する
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1		・引き続き実施する
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	・子ども達が自由に遊びを選んで活動できるレクリエーションを月一回程度行っている。	・引き続き実施する
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		・引き続き実施する
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・持病がある利用者の医療関係の連絡先や関係機関の連絡先は掲示している	・引き続き実施する
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			・引き続き実施する
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2		・わからないという答えの職員がいるのでスタッフ間で情報等を共有し不明点がないようにしていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			・わからないという答えの職員がいるのでスタッフ間で情報等を共有し不明点がないようにしていく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3		・わからないという答えの職員がいるのでスタッフ間で情報等を共有し不明点がないようにしていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		・今後検討する
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		・人員不足の為営業時間中に行われる協議会などに参加する余裕はないが、今後検討していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			・引き続き実施する
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		・今後検討していく
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			・引き続き実施する	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			・引き続き実施する
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			・引き続き実施する
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			・引き続き実施する
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			・引き続き実施する
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			・引き続き実施する
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			・引き続き実施する
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			・引き続き実施する
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・職員の研修・訓練、利用者への訓練は実施している	・家族には周知できていない為、今後保護者にも周知できるように検討する
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			・引き続き実施する
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			・引き続き実施する
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	・保護者からの報告等で判断し対応している	・現在対象児童いないが今後に備え、職員全体で情報共有できるようにする
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・現場で出来る限り対策をしている	・引き続き実施する
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		・引き続き実施する
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			・引き続き実施する
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			・引き続き実施する
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			・引き続き実施する